

---

# 妖怪達来る！

屍斗<sup>°</sup>

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

妖怪達来る！

### 【著者名】

屍斗、

### 【ISBN】

25890F

### 【あらすじ】

古くからボンゴレにあると言われるボンゴレ裏暗殺部隊・・・  
その者はすべて・・人間ではない・・そんな者達が日本にいる、ボンゴレ10代目、沢田綱吉の元へやってきて・・!?

日本へ来た理由来る！

ボンゴレ裏暗殺部隊・・

それは、極秘扱いの部隊、

そこに所属する者は、人間ではない・・人間は誰一人としていない

そこに所属できる者は・・・

妖怪のみ

そして・・・薄暗い部屋

あたりには血の匂いがぷんぷんしている・・・

もちろん、血痕や・・・飛び散った血の跡もある・・・

そして・・・そんな部屋に一人の女・・・いや男が居る

彼の名はレイ・クロード・・・だが、これは過去の名、今はファン  
トムといつねだ、

彼がこの部屋にいるのは・・・

捕まっているからだ

田には田隠しをされ、手足は手錠と鎖で縛られ、その上からセーリング  
ロープで巻き、口はガムテープでふさがれている・・・

だが、すでに口に貼られたガムテープには無数の穴があいていた  
そして・・頑丈そうな檻にも入れられている・・・鍵も厳重に簡単  
には開けられないよう、何重にもなっている

何故ここまで厳重かといふと・・・

彼は人間ではない生物だから・・・・彼は不死身のヴァンパイア、  
普通ならこんな風に捕まるはずもない・・・だが、彼はある人物の  
ために捕まつた

ボンゴレ一世の命のために・・・

彼は、ボンゴレに属しながらも・・殺し屋としても働いていた、

そして・・彼の元へボンゴレ一世の暗殺依頼が来た・・・

だが、彼には殺せない・・・

ボンゴレ一世に忠誠を誓つている彼は・・絶対に、

そのため、彼は、暗殺依頼を断り・・逆恨みされ・・捕まつた、

彼の妖力が一番下がる日に・・・それは10月31日、

彼の命日だ・・・

・・・・・ガチャツ・・

部屋のドアが開く・・・」の部屋には普段監視の者も誰一人こない・

(・・誰だ・・?)

ドアが開き、かなりの速さで、ファンタムが捕まつてゐる檻の元へ来たようだ

(・・この靴の音・・・聞き覚えが・・)

・・・・ガチャガチャツ

檻の鍵がはずされてる・・?

・・・バキッ・・・ドガツ・・

外されている・・といつより、檻を破壊していふようだ・・

(・・この氣の短さ・・・あいつか・・)

そして、口のガムテープと、田嶋しが外され、

「ファンタム、遅れてごめんな・・」

ファンタムを助けに来たのは、金髪で、真っ赤な瞳の男  
名はナイト・メア

「・・無駄口叩いてる前に鎖とか手錠外せ」

軽くいいらだちながらファンタムが言つ

「わーったから、」

ジャラッ・・・バリンッ

ナイトが足に巻かれた鎖と手錠を外しだす・・  
・・だが、やはり破壊した、

「もつ少しもにはずせやツー

足が自由になつたとたんファントムは  
足で手に巻かれている鎖や手錠を蹴る

「・・・く、碎けた・・・・・」

「呪われえ自由になりや」ヒーチのもんだ

ファントムはいとも簡単に、手錠や鎖を粉碎したようだ・・

「まあ・・そーだけども・・・」

「でさ・・今、西暦何年?」

ファンタムがそれを聞いたとたん・・ナイトが口を閉じる

「・・・・・」

「・・・何故言わないんだ?」

「・・今は2008年・・4月1日です」

その言葉にファンタムは驚きを隠せなかつた、  
彼が捕まつたのは1400年代ぐらいなほど、  
約600年もの間捕まつていたなど、信じたくもなかつた・・ボン  
コレ1世が居ないことも、

「……………そつか……」

一応・・冷静なよう振舞う

「はい・・、でも一応はボンゴレに所属してゐぜ??、そんなに落ち込むなよ・・な?」

「・・・・・そうか・・・」

「ぐらナイトが言おうとも、ファンタムは同じ言葉しか言わない

「あ、そうだ、9代目からなんだが、今日中に、日本へ飛ぶぜ??、ナイトがふと思出したかのように言つ

「・・何故、日本へ行かねえとなんねえんだ?」

「日本に、ボンゴレ一世の血を引く、ボンゴレ10代目・・沢田綱吉が居るからだ」

「・・・わかつた」

(・・一世の血縁者・・?・・・)

こうして・・二人は日本へと旅立つた、ボンゴレ10代目沢田綱吉に会つたためだけに・・

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5890f/>

---

妖怪達来る！

2010年10月10日10時59分発行